

**歯科医が実践する  
アンチエイジング診療は  
治療が目的**

私たちのクリニックでは、歯科自費診療として、高濃度ビタミンC点滴、ヒアルロン酸注入、姿勢矯正医療機器など様々なものを導入していますが、これらについてではなく、これまで治療の一環であると考

えています。

一般的に、一般歯科診療と歯科アンチエイジング診療は全く別のものと認識されていますが、歯科医が行うアンチエイジングはあくまで治療を目的としたものであって、一般歯科診療と何ら変わりはありません。例えば、高濃度ビタミンC点滴はアンチエイジングが主目的ではなく、免疫力を上げることで歯周病など感染症を治療することを狙つたものです。

**年齢相応の理想的な健康状態に戻すということ**

歯科におけるアンチエイジングとは、"若返る"ことでなく、"年齢相応"の理想

的な健康状態に戻すということです。エイジングにより顎関節の形態は変わつてお

り、左右の噛み合わせがずれてしまつていて、口の中には今

の年齢に調和したものを入れなければなりません。新しい

ものを入れた反動で、他の部

分に不具合を起こしてしまつ

のではなく、残っている機能をどう保存していくかがポイントになります。

例えば、口腔内に補綴物を入れることによって、咀嚼がよりしやすくなったり、唾液の分泌量が増えるといったよう

うに、身体の状態を楽に保てるようになりますことが重要で

す。その一方、噛み合わせの左右差は生活習慣に起因して

いることがあるため、カウンセリングで聴取し、生活習慣の改善をアドバイスすることも必要になります。そのためには、咬合と顎関節の審査・診断を正しくできる必要があります。

「歯科自費診療の羅針盤」  
連載 第11回

## 歯科一般診療と歯科アンチエイジング診療をつなぐための歯科自費診療とは

歯科医院経営においては、自費と保険のバランスの良さ、疾患診療と美容診療（アンチエイジング診療）のバランスの良さなどがポイントになるが、では美容診療とはどのような位置づけであるべきなのか。今回は、歯科におけるアンチエイジング診療について伺った。



医療法人社団 登龍会  
代々木デンタルクリニック 院長  
一般社団法人 日本顎顔面美容医療協会 会長

### 服部 敏先生

医療法人社団 登龍会  
代々木デンタルクリニック  
東京都渋谷区代々木1-38-4 田中ビル3F  
URL:<http://www.m-y-w.com>  
TEL: 03-5333-1866

**患者さんへの教育が  
歯科アンチエイジング  
診療につながることがある**

先ほど患者さんへのアドバイスの話が出ましたが、それは非常に大切なことです。人によつては、歯に対する知識が不足していることがあります。

一例としてホワイトニングについて、歯の表面が再石灰化されていないため適応外の患者さんがいますが、その一つとして歯の表面が再石灰化されていない食後すぐに歯磨きをしている場合があります。このような歯磨きの仕方やタイミングを指導することが、歯科アンチエイジング診療につながります。

なぜ悪くなったのかといつ発症メカニズムを説明してあげなければ、進行を止めるこ

とはできません。身体に悪い事とわかつていればセーブす

同樣です。当クリニックではまず姿勢矯正の医療機器で体を正しい状態にしてから歯を治し、これが本来の噛み合わせであることを示すことがあります。一般歯科診療につなげています。

このように、歯科アンチエイジング診療は治療の環であり、そのためには①咬合と顎関節の審査・診断、②患者教育がポイントになります。日本顎顔面美容医療協会では、それらの審査・診断を正しく行うことを見定医の条件としており、さらに保険診療をされている先生方にも咬合と顎関節の審査・診断をしていただこうとに啓発活動をしています。また、患者さんへのより良い説明方法に関するノウハウについても教育を始めているところです。

歯科アンチエイジング診療は、単に表面的な美しさをつくるものではなく、その人が健康になり自信を持つことで、以後の人生のステップアップにつながるように行つものですが、通常、イメージされやすい整形とは異なることを理解していただきたいたと考えています。